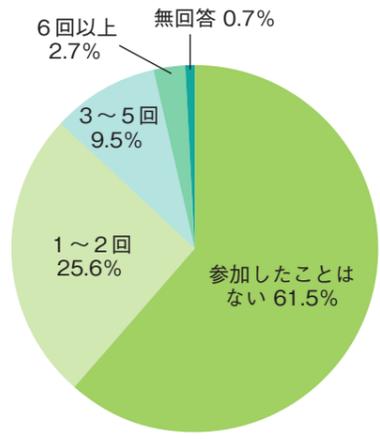


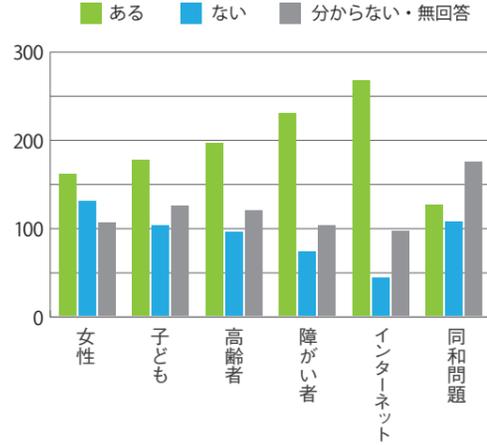
みんなで作ろう、差別のない住みよい町

内子町では同和問題を中心とした人権意識を把握するため、3年ごとに意識調査を実施しています。昨年8月13日～9月19日の間、郵送によるアンケート調査を行いましたので、主な結果をお知らせします。

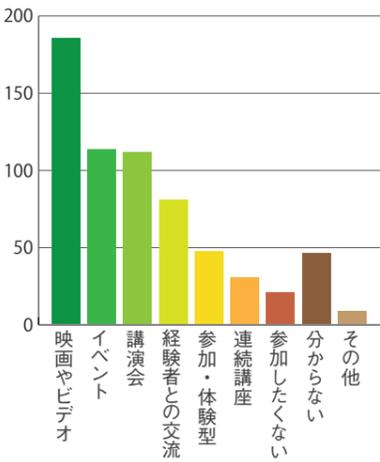
対象は町内在住の20～79歳の男女・計1,200人。有効回答数は402人（男性186人、女性213人、無回答3人）、回収率は33.5%で、前回（令和3年度）調査時の回収率34.8%を下回っています。



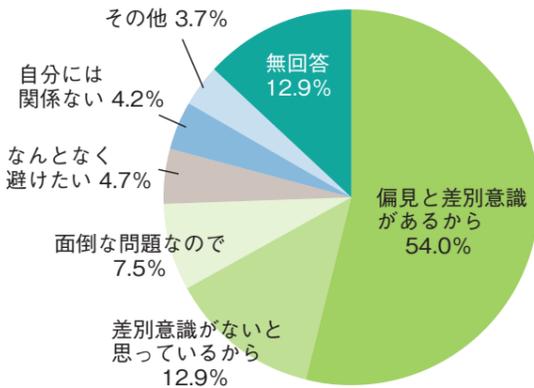
④研修会・学習会への参加状況
問最近（過去3年程度）同和問題をはじめ人権問題に関わる研修会などに何回くらい参加しましたか。



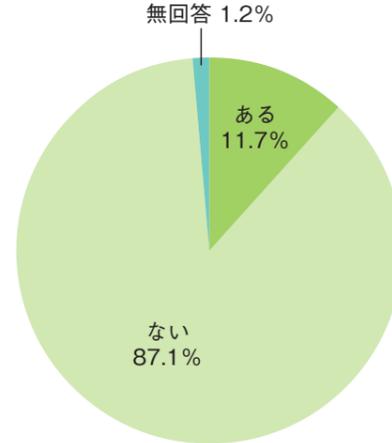
③身近なところでの人権侵害の認知
問自分の家庭や職場・地域などの身近なところで、次のような人権侵害があると思いますか。（複数回答）



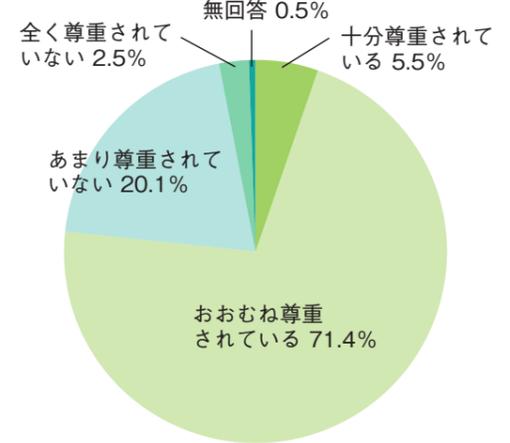
⑥人権問題への取り組みに関する意識
問人権問題に関する学習会や啓発活動にあなたが参加するとしたら、どのようなものが良いですか。（複数回答）



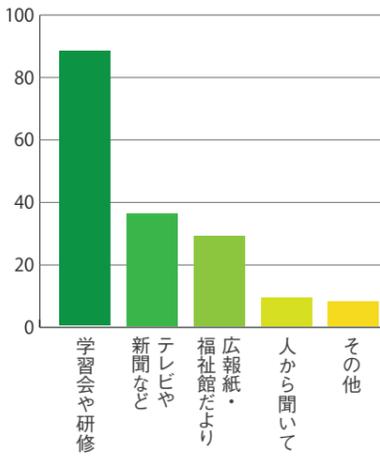
⑤同和問題に関する意識
問現在でも起こる同和問題。原因となる考え方はどのようなものだと思いますか。



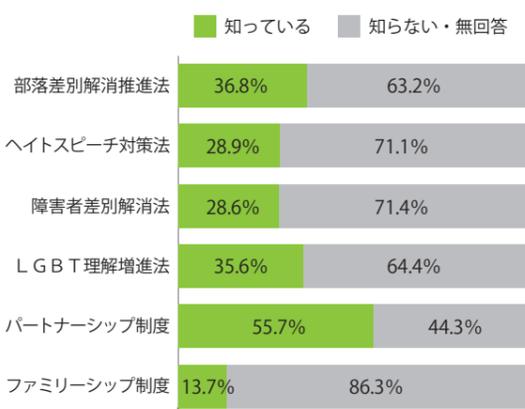
問最近（過去3年程度）、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



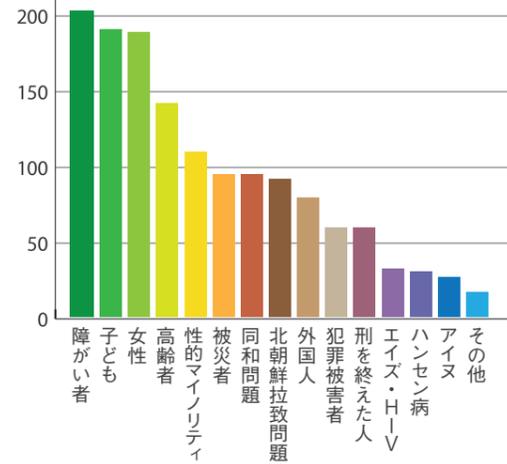
①人権意識と人権侵害の実態
問今の日本は人権が尊重されている社会だと思いますか。



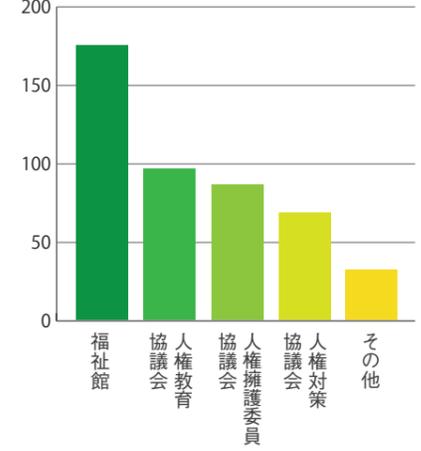
問部落差別解消推進法はどのようなようにして知りましたか。（知っているに答えたと答えた148人が対象、複数回答）



⑦人権関連の法律施行に関する意識
問次の法律（略称）を知っていますか。知っているものを全て選んでください。（複数回答）



問さまざまな人権問題の中で、どのような問題に関心がありますか。（複数回答）



②人権問題への関心度
問あなたが知っている人権に関する相談窓口をすべて選んでください。（複数回答）

《アンケート結果から考える》

アンケート調査では、約7割の人が「日本では人権がおおむね尊重されている」と回答しています。一方で「過去3年の間に、自分の人権が侵害された」とした人の5割弱は「日本では人権が尊重されていない」と考えています。

②の人権問題の関心度についての問いでは、「障がい者の人権問題」が5割に達し、最も高くなっています。次いで子どもの人権問題、女性の人権問題が高い結果となります。

③の身近なところでの人権侵害の認知では、「インターネット」という回答が多く、人権侵害の内容としては「根拠のない悪い噂、悪口を掲載」が87%、「無断で人のプライバシーを掲載する」が72%となっています。

⑦の人権関連の法律施行に関する意識の問いでは、「部落差別解消推進法」など差別解消をうたった法律についての認知度は37%となり、前回調査と比較して7%減少しています。「パートナーシップ制度」の認知度が55%と最も高く、前回調査と比較して16%増加しました。

自由記述では「自治会活動で毎年行うべきと思う。回数を重ねるごとに理解が深まると思う」「このアンケートにより自分の意識の不十分なところに気付くことができた。もっとしっかり学習していきたい」「もっといろいろな人が参加してみようと思える教育の場があればいい」など、人権・同和教育の推進に積極的な意見が寄せられました。

《調査のまとめ》

内子町における人権啓発活動は、十分とはいえない状況ですが、一定の効果を上げていることも分かりました。啓発活動への参加経験が多い人ほど、人権侵害に関する相談窓口や差別解消を目指す法律の認知度も高く、人権問題への関心が強い結果となっています。

町内では、うちこ福祉館、自治センターなどで人権・同和問題学習会を開催し、啓発活動を行っています。すべての人の人権が尊重される住みよい地域づくりを目指して、みんなで共に考え、差別解消に向けて行動していきましょう。

【問い合わせ】

内子町教育委員会（内子分庁内）
自治・学習課 生涯学習係

☎0893(44)2114